



2025年度 赤い羽根共同募金助成事業 ありがとうメッセージ集

～きずなのまちづくり助成事業～



きずなのまちづくり助成事業とは

社会福祉法人登別市社会福祉協議会と共に福祉のまちづくりを積極的に取り組む団体が、市民のための福祉活動計画である登別市地域福祉実践計画「きずな」の趣旨に賛同し、その趣旨に基づいて実施する事業及び活動に対して共同募金の支援を受け助成を行い「きずなのまちづくり」を共に進める事を目的とした事業です。

2025年度については、18事業に対して総額837,000円を助成金として交付しました。この報告書では、助成金を活用して行った様々な事業の報告と募金寄付者へ向けた感謝のありがとうメッセージを掲載しています。



この事業は「赤い羽根共同募金」の支援を受けて実施しています。

① 市民が主体的に地域の問題を解決していくための取り組み

子ども農園事業

NPO法人ゆめみ〜／50,000円助成

助成金のおかげで子どもたちが学校では体験できない農作業を経験し、作物のできる過程を経験しました。寄付者の皆様、ありがとうございました。



犯罪予防を通して命の大切さを広める事業

登別更生保護女性会／30,000円助成

私たちは犯罪者をなくすために活動を行っています。特に子どもたちに焦点を当て、子ども食堂や啓発運動を行っています。助成金のおかげで広く命の大切さを広める事が出来ました。



町内会防災訓練等の推進事業

登別市連合町内会／100,000円助成

皆様から頂いた助成金は全市一斉防災訓練や市内町内会で行われる防災訓練に活用させていただきました。日頃から地域ぐるみで声かけ・助け合い・支え合い活動が大切であると認識いたしました。



元鬼まつりキャンドルフェスタによる世代間交流事業

NPO法人ライフサポート／30,000円助成

毎年12月に若草中央公園にてイルミネーションを点灯し、地域の皆様楽しんでいただき、防犯にも寄与しています。寄付者の皆様ありがとうございました。



② 福祉サービスの質と量を保障する市民協働のための取り組み

施設・地域福祉へのマンドリン訪問演奏事業

コンパニア・デ・マンドリーナ／30,000円助成

今年度の訪問演奏はほぼ計画通りにできました。今後とも市民の皆様にご覧いただきよう継続して活動してまいりますのでよろしくお願いいたします。



視力障がい者に対する広報等朗読吹込み事業

登別朗読ボランティアの会／70,000円助成

視力障がいの方々に「広報のぼりべつ」等の朗読吹込み活動を行うのに必要な消耗品の購入などに活用させていただきました。寄付者の皆さんありがとうございました。



要介護者を対象とした衣類のリフォーム事業

ハンズ・メイト／24,000円助成

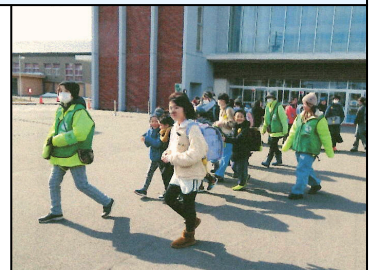
皆様の温かい想いのこもった助成金は、ミシンの修理代などへ使わせていただきました。私どもの活動が皆様方へ衣類のリフォームという形で還すことができました。



鷺別小学校区子どもの見守り啓発事業

鷺別子ども見守りたい／7,000円助成

助成金によって見守り活動やかかわ版の発行をしています。これにより、地域全体が安心して生活できる環境につながっていると感じます。寄付者の皆様、ありがとうございます。



③ 市民の福祉に対する関心や意識を高めるための取り組み

アイヌ刺繍を通しての文化伝承活動

登別アシリの会／30,000円

おかげさまで、アイヌ文化伝承活動が行われたこと感謝いたします。子どもから高齢者までアイヌ刺繍に興味を持って大変有意義な時間です。ずっと継続させていきたいです。



視覚障がい者の社会参加と障がい者への理解を深めるための啓蒙活動

登別視力障害者協会／40,000円助成

皆様から頂いた助成金は主に視覚障がい者への理解を深めるために使用する資料やチラシの作成費として使用させていただきました。寄付者のみなさまありがとうございました。



肢体不自由児への理解と地域参加を図るための交流事業

登別肢体不自由児者父母の会／42,000円助成

今年度はレクや療育キャンプなども増え、地域の方々と交流の機会も多くみんなの楽しそうな声や笑顔もたくさん見る事ができました。たくさんのご寄付をありがとうございました。



手話講習会開催のための事業

登別手話の会／47,000円助成

のぼりにて2回、手話講習会を開き、子どもから大人までたくさんの方に手話に触れていただきました。これからも手話について理解が広がるよう、活動してまいります。



手話学習会及び手話フェスティバル実施事業

登別聴覚障がい者協会／40,000円助成

「第7回ぬくもりある手話フェスティバル」では、50人の参加者と共に手話について理解を深めました。市内小学校の手話クラブにて、指導技術の向上に努める事ができました。



第18回「障害者週間」記念事業と啓発活動事業

登別市障害者福祉関係団体連絡協議会／50,000円助成

「第18回障害者週間記念事業」では、障がい者が災害弱者にならないための講演を開催して多くの方に災害時の障害者支援について理解を深めていただくことができました。



創立50周年記念と交流を深める啓発事業

登別市手をつなぐ育成会／50,000円助成

皆様から頂いた助成金は、有意義に利用させていただきました。20歳になった会員をご来場いただいた皆様とお祝いし、とても素敵なひとときとなりました。心より感謝申し上げます。



第2回きずな杯市民交流レク・ボッチャ大会

登別身体障害者福祉協会／67,000円助成

「ボッチャ」が年々市民のみなさんに浸透してきたことはとてもうれしいです。皆さんが楽しくプレーをし、たくさんの皆さんと交流されていることは私たちの目指す姿でもあります。



知的・発達障がい者の社会参加を促す余暇活動、障がいについて理解を深めるボランティア育成事業

登別市手をつなぐ育成会／30,000円助成

今年は果樹園に行きました。障がい者、家族だけでなくボランティアの方々も参加していただき、みんなで楽しい一日を過ごすことができました。ありがとうございました。



④ きずなづくりを進めるための多様なネットワークづくりのための取り組み

町内会における助け合い推進事業

登別市連合町内会／100,000円助成

この事業を通して誰も地域で孤立することなく日頃から声かけ・助け合い・支え合い活動が大切であることを認識いたしました。寄付者の皆様に感謝いたします。



「じぶんの町をよくする」赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」として、住民の皆さんが自ら進める地域福祉活動を財政面から支援するための募金です。

市内で寄せられた募金は、きずなのまちづくり助成事業のほか、翌年度の地域福祉活動計画のために使われ、一部は災害発生時に災害ボランティアセンター等の活動が速やかに展開されるために活用されています。

今年度も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。登別や北海道の地域福祉活動を応援するため、皆さんのご協力をお願いいたします。



赤い羽根共同募金の使いみち



赤い羽根共同募金は「じぶんのまちを良くする」ための活動を支える、大切な取り組みです。
登別市内での赤い羽根共同募金の使いみちの一例をご紹介します。

1

きずなを護り強める活動に

●ふれあい子育てサロン



子育て中の親や子ども、また、子育てを応援したい方が気軽に自由に参加し、子育ての情報交換や親同士の交流を図るための居場所づくりに取り組んでいます。

2

きずな活動の推進に

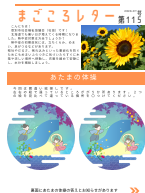
●登別市地域福祉実践計画「きずな」

登別市地域福祉計画実践計画「きずな」の策定に基づく活動により、地域住民自ら地域の課題と地域福祉の大切さを捉え、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めています。

3

つながる、育む活動に

●まごころお届けプロジェクト



孤立や孤独死の防止、地域の繋がりを紡ぐ取り組みとして、レターを発行し、見守り訪問活動を行っています。

4

きずなを育て確かめる活動に

●出前福祉講座



市内小学校や企業、町内会を対象に「障がい」や「福祉」などをテーマに「ふだんのくらしのしあわせ」について学び、福祉豊かなまちづくりに取り組んでいます。

5

見守る、支え合う活動に

●小地域ネットワーク活動の推進



きずな安心キット及びきずなづくり台帳等の配布を基本とした日頃からの見守り活動を通じ、災害時や緊急時を意識した支え合う地域づくりを進めます。

6

若者ふくしの活動に

●ピンクシャツ大作戦



学生が中心となり実行委員会を組織して、「いじめ反対」の意志表示と多様性を認め合う「ピンクシャツデー」の取り組みを応援します。

発行

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
登別市片倉町6丁目9番地1 総合福祉センターしんた21内

TEL 0143-88-0860

FAX 0143-88-4546



ホームページはこちら